

令和6年度

Livedo オンラインセミナー

講師紹介

 Livedo

リブドゥコーポレーション



井口 健一郎(いぐち けんいちろう)氏

社会福祉法人小田原福祉会 理事

特別養護老人ホーム潤生園 施設長

大学院卒業後、小学校教員を経て、2009年社会福祉法人小田原福祉会に入職。

大学での非常勤講師や学会での理事を務める傍ら、FMおだわらでは介護に関わる様々な疑問・お悩みを実例に基づいた回答とアドバイスをする「市民を介護で困らせない ミンナの介護」のパーソナリティも務め、社会貢献活動にも精力を注いでいる。

WOWOWドラマ「正体」では介護監修者として介護指導に携わる。



浦田 克美(うらた かつみ)氏

医療法人財団松圓会 東葛クリニック病院 看護部主任

皮膚・排泄ケア認定看護師

東京警察病院看護専門学校卒業後、2007年に日本赤十字看護大学看護実践・教育・研究フロンティアセンター認定看護師教育課程皮膚・排泄ケアコース卒業。2008年、皮膚・排泄ケア認定看護師資格取得。2009年、おむつフitter3級取得。2017年、特定行為研修(創傷管理分野)修了。

ケアレベルの底上げを目指し、松戸褥瘡ケアフォーラムを立ち上げ活動。YouTubeで、褥瘡やおむつケアに関する動画を配信。



香川 寛(かがわ ゆたか)氏

特定非営利活動法人リハケアリングネットワーク 理事長

一般社団法人 日本重度化予防ケア推進協会 理事長

作業療法士。介護保険事業、コンサルティング事業、セミナー事業を運営。ポジショニング、シーティング、ノーリフティングケアを中心に福祉用具の活用法、重度化予防のためのケア技術など、年間200回以上の研修・セミナーを開催。

法人の理念は、『歳をとっても、障害があっても「自分らしい暮らし」が保障される「尊厳のあるケア」が当たり前な地域・社会の実現に尽力する』

現場に寄り添い、介護される方の思いも汲み取り、事例を交えながらの講義で定評がある。



梶川 義人(かじかわ よしと)氏

日本虐待防止研究・研修センター 代表
桜美林大学／淑徳大学短期大学部 兼任講師

20年間、特別養護老人ホームなどの介護施設で勤務し、処遇困難事例、家族問題担当ソーシャルワーカーとして働く。その後、特別養護老人ホームの業務アドバイザーを約10年間務める。複数の大学の非常勤講師、自治体の高齢者虐待防止に関する委員会の委員、事例対応のスーパーバイザーを務めるとともに、複数の自治体等の社会福祉審議会委員も兼任。

人生をかけて障がい者・高齢者の虐待問題の解決に尽力されている。



川澄 弘喜(かわすみ ひろき)氏

多摩大学大学院 医療・介護ソリューション研究所
介護保険施設 運営・経営アドバイザー

介護保険施行前より、特養施設長から地域包括支援センター管理者、介護保険施行後は、介護老人福祉施設、居宅介護事業所の管理者に従事しながら旧ヘルパー講習、認知症介護研修、ケアマネ更新研修等の講師を担当し、東京都第3者評価者、一般企業など介護保険事業以外でも幅広く、経験を積み続けている。現在は、社会福祉法人理事や監査室業務にも従事している。

経験を活かしたファシリテーターとして、前向きな姿勢のお手伝いをします。



菊地 雅洋(きくち まさひろ)氏

北海道介護福祉道場あかい花 代表
あかい花介護オフィス CEO

社会福祉士、介護支援専門員等の資格を保有し、『人を語らずして介護を語るな』シリーズ等の著者として知られる。そのほか多数の著書を出版しており、最新の「きみの介護に根拠はあるか～本物の科学的介護とは」も人気が高い。

ブログで介護関係の最新情報や持論を公開しており閲覧者数が多数。



黒木 利恵(くろき りえ)氏

神奈川県立保健福祉大学実践教育センター
感染管理認定看護師教育課程 専任教員
感染管理認定看護師

神奈川県立がんセンターに勤務、2004年感染管理認定看護師を取得し、2019年より現職。WHO 手指衛生多角的戦略に基づく手指衛生指導者育成セミナー運営をはじめ、神奈川県感染症医学会評議員、神奈川県健康医療局新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部感染症対策指導者及びC-CAT業務従事者として活動している。

高齢者施設等へ訪問し、感染対策指導や職員教育などを行い、現場からの信頼も厚い。



繁田 雅弘(しげた まさひろ)氏

東京慈恵会医科大学 精神医学講座 教授
一般社団法人 栄樹庵 代表理事「SHIGETAハウスプロジェクト」代表
医療法人社団影耀会 メモリーケアクリニック湘南 名誉顧問

認知症診療のオピニオンリーダー。学会活動のみならず東京都認知症対策推進会議など都の認知症関連事業や、専門医やかかりつけ医の認知症診療の講習や研修に長く関わり、市民向けの講演活動も精力的に行なっている。

医療の枠にとらわれず、認知症の人をいかに支えるかを追求している。



杉浦 永子(すぎうら ながこ)氏

第一印象研究所 代表 人材育成コンサルタント

一般社団法人日本アンガーマネジメント協会認定 アンガーマネジメントコンサルタント®、一般財団法人ハラスメント対策協会ハラスメント対策アドバイザー等、他多数資格を有す。

介護職、客室乗務員の経験を活かし、講師歴は18年。セミナー、研修の総受講者数は5万人以上。医療、介護、福祉分野の研修を得意とする。

セミナーの特色は、【楽しく・分かりやすく・実践に繋がる！】をモットーにしている。

一度依頼するとまた依頼したくなる研修と講演会と評判で、依頼先からの満足度も高い。



高野 龍昭(たかの たつあき)氏

東洋大学 福祉社会デザイン学部 教授

社会福祉士・介護支援専門員の資格を有す。
1964年1月 島根県生まれ 龍谷大学文学部社会学科社会福祉学専攻を卒業後、1986年から島根県と広島県で医療ソーシャルワーカーやケアマネジャーとしての実践にあたる。2005年からは東洋大学で介護福祉・社会福祉専門職の養成教育と介護政策・システムやケアマネジメントの研究に従事する。介護保険制度の動向と介護従事者・高齢者へのその影響に研究的関心をもつ。

経済的に困窮な高齢者の介護サービスにおける問題に関心を持ち、養護老人ホームを対象とした調査・研究も行っている。



千島 己幸(ちしま みゆき)氏

クオール株式会社 薬局支援本部 副本部長

在宅推進本部 在宅運営部 部長

城西大学薬学部卒業後、病院勤務を経てクオール株式会社入社。おむつフitter1級取得後、多数の研修講師を務め、学会等でも数多くの研究発表を行っている。

在宅医療の分野でも、医療機関との連携体制をもとに、薬剤師としての介入を推進している。



西田 壽代(にしだ ひさよ)氏

足のナースクリニック 代表

一般社団法人 日本トータルフットマネジメント協会 - JTFA 会長
卒業後聖路加国際病院、東京海上ベターライフサービス株式会社、駿河台日本大学病院を経て2010年より現職。病院や高齢者施設、訪問看護ステーション等と提携し、フットケアやWOC分野におけるスタッフ教育や患者ケア、多職種連携・調整等を実施している。また、講演、執筆活動などを通じ、フットケアの啓発をライフワークとし活動を行っている。

協会や学会設立に携わり、医療従事者専門のスクール開講等フットケアのすそ野を広げる活動を行っている。



長谷川 洋(はせがわ ひろし)氏

長谷川診療所院長 精神科医 精神保健指定医

日本老年精神医学会専門医

日本精神神経学会専門医

聖マリアンナ医科大学東横病院精神科主任医長を経て、2006年に長谷川診療所を開院。地域に生きる精神科医として小児から高齢者まで、さまざまな精神疾患の治療とケアに従事。

認知症専門医の第一人者で、自らが認知症になったことを公表した故長谷川和夫氏のご長男。



服部 真治(はっとり しんじ)氏

一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会

医療経済研究機構 政策推進部 副部長、研究部 主席研究員

千葉大学大学院医学薬学府博士課程修了、博士(医学)。

1996年東京都八王子市入庁。介護保険課主査、財政課主査、高齢者いきいき課課長補佐、厚生労働省老健局総務課・介護保険計画課・振興課併任課長補佐等を経て、2016年医療経済研究機構入職。放送大学客員教授等も務める。

ケアマネージャーを対象としたセミナーにて講師を務めるなど、介護業界全体の質向上に大きく貢献している。



林 正(はやし ただし)氏

合同会社キャリアワークス 代表

社会福祉法人吹上苑 特別養護老人ホームやすらぎの家 理事

特別養護老人ホーム相談員歴30年、施設、地域ケアマネジメントにあたる。介護保険制度施行時より介護支援専門員研修講師。

東京都、神奈川県介護支援専門員専門Ⅰ、Ⅱ 研修講師。

社会福祉法人吹上苑施設長を歴任し、2023年8月専門職のキャリアと人生サポート、研修、教育施設運営コンサルティング、居宅支援事業等を行う 合同会社「キャリアワークス」を設立し、代表となる。

介護報酬加算、運営基準等の研修を実施し、加算、運営基準解釈のエキスパートとして、多くの法人運営をサポートしている。



細川 香代子(ほそかわ かよこ)氏

医療法人財団 荻窪病院 看護部看護部長

認定看護管理者

東京医科大学病院附属看護専門学校卒業後、東京医科大学病院救急救命センター入職。医療法人恵山会丸山病院看護部長、医療法人誠馨会セコメディック病院 副看護部長・メディカルセーフティマネージャー、セコム医療システム株式会社病院支援本部課長、荻窪病院看護部長、セコム医療システム株式会社看護師特定行為研修センター長、東京看護協会勤務を経て2023年1月より現職。

医療安全管理を専門分野とし、医療事故防止や危険予知訓練に関する研修の講師を多数務める。



前田 慶子(まえだ けいこ)氏

東京慈恵会医科大学附属病院 看護部 師長

摂食嚥下障害看護認定看護師

慈恵看護専門学校卒業後、慈恵会医科大学附属病院に入職。整形外科病棟の看護師長時に、栄養サポートチーム専任看護師に従事し、ここでの患者様との出会いをきっかけに、摂食・嚥下障害看護認定看護師を目指す。

現在は、摂食嚥下支援チームや在宅支援室看護師長として、外来・病棟看護師と連携を取りながら日々多くの患者様の食への支援をしています。

患者様の栄養管理や食べたいと思える口腔内環境をつくれるように、日々多職種と連携しながら臨床で学びを深めております。



松永 早苗(まつなが さなえ)氏

神奈川県立保健福祉大学実践教育センター

実践研究担当課長 兼 保健福祉学部准教授

感染管理認定看護師

大阪府三島救命救急センターに勤務、2000年青年海外協力隊にてパラオ共和国へ派遣される。2006年感染管理認定看護師を取得し、臨床を経て看護大学の教員となり、2021年から現職。NPO法人きれいな手、国際緊急援助隊感染症対策チーム、日本国際看護学会理事として活動している。

あらゆる角度から感染症を研究しスペシャリストを育成をしながら、地域貢献活動にも力を入れています。



Lily(りりい)氏

Tap Dance Company Freiheit 主宰

中央大学クレセントアカデミー講師

中央大学法学部卒業。大学教授を目指すも、社会問題の解決にはタップダンスが有用であると考え、卒業後NYへ単身渡米。

主演映画はカンヌを始め、各国の国際映画祭にノミネート、受賞。

NYの歴史あるジャズクラブ「Cotton Club」やブロードウェイの有名ライブハウスにて公演を成功させる。東日本大震災をきっかけに、タップダンスを通じて社会貢献活動を行う、

『Freiheit Tap Contribution Project』発起。

多世代に向けたインクルーシブなタップダンスとして、「椅子タップダンス」を提唱。

(50音順)